

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
香川駅周辺地区

平成28年3月

神奈川県茅ヶ崎市

1. 数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4ー① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	香川のまちの満足度	%	40	50	54	確定 見込み	○	あり なし	57	H28年1月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	香川駅西口駅前広場や市道0111号線などの道路整備により、歩行者と車輛が分離され、安全で快適な交通が可能となった。
指標2	自転車駐車場の混雑度の緩和	%	110	90	43	確定 見込み	○	あり なし	40	H28年1月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	香川駅自転車駐車場の整備により、適正な利用台数となり、自転車駐車場の混雑度が緩和された。
指標3	地区内の移動時間	%	100	90	62	確定 見込み	○	あり なし	42	H28年1月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	市道0205号線の拡幅により、対面交通が可能となり、道路交通が円滑になった。 また、寺尾橋の二車線化により、香川地域の交通ネットワークが向上した。
指標4	香川駅の乗車人員の増加	人	4,586	4,600	4,937	確定 見込み	○	あり なし	4,900	H28年1月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	駅周辺の整備により、道路交通が円滑になり、歩行者の安全性の向上とともに、車輛の交通が円滑になったため、電車利用が増加した。

様式4ー② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	—					確定 見込み				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定 見込み				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	駅前周辺の道路等の整備	平成29年度までに聖天橋、平成35年度までに市道7115号線の整備を行うため整備方針を作成。整備に関係する住民への説明を行った。	地域住民の事業への関心を高め、事業内容への理解を求めた。	橋の架け替えについては寒川町、神奈川県等関連する管理者との継続的な調整が必要となる。道路の整備については歩道の設置について調整が必要。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	北の拠点としての市街地づくり	・多世代が定住することのできる住環境整備 ・個性ある商業空間の創出 ・身近な自然やみどりの活用 ・環境にやさしいまちづくりの推進 ・地区のシンボルとなる地域資源の保全・活用	まちづくり活動検討会において検討を行う。	今後もまちづくり活動検討会を必要に応じて実施する。

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
なし			

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

香 川 駅 周 辺 地 区 都 市 再 生 整 備 計 画

平 成 2 5 年 3 月 2 9 日

神 奈 川 県 茅 ヶ 崎 市

都市再生整備計画(第4回変更)

か が わ え き し ゅ う へ ん
香川駅周辺地区

か な が わ ち が さ き
神奈川県 茅ヶ崎市

平成 25年 3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	茅ヶ崎市	地区名	香川駅周辺地区	面積	184 ha
計画期間	平成 21 年度 ～ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ～ 平成 25 年度				

目標

大目標:安全・安心・快適で魅力あふれる市街地の再生

目標1:「香川のまちの満足度の向上」

目標2:「自転車駐車場の混雑度の緩和」

目標3:「地区内の交通移動性の向上」

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

○本市は、東京都心から約50kmの神奈川県中央部にあり、東京都市圏のベッドタウンとして発展してきた面積35.76km²、人口約23.2万人の住宅都市です。高度経済成長期の昭和35年から昭和55年には、10万人の人口が増加し、急激な過密化とともに、都市化が進みました。反面、都市基盤整備事業については、急激な都市化に追いつかず、特に道路・交通等に対する都市基盤の脆弱さが浮き彫りになっていきます。

○本地区は茅ヶ崎市の北の拠点である香川駅周辺部で、茅ヶ崎市の北の玄関口としての役割を担う地区である。当駅周辺の現状は、通過交通の流入による交通環境の悪化による歩車分離の道路整備、駅前駐輪場の整備等が望まれていた。そこで、市民が中心となりワークショップの開催、まちづくり検討会の開催を経て、平成15年に「香川駅周辺地区まちづくりへの提言」を市長に提出しました。提言を基に平成17年に「香川まちづくり基本計画」を、平成19年に「香川駅周辺地区まちづくり整備計画」を策定し、北の拠点として相応しい市街地づくりを推進している。

○このことから、当地区は、道路網の整備の遅れから通過交通面の住宅地内への流入が問題となっており、市民が安全・安心・快適に暮らせる環境づくりが急務となっている。

課題

○都市基盤整備は、急激な都市化に追いつかず、特に道路・交通に対する都市基盤の脆弱さが浮き彫りになってきており、市民が安全・安心・快適に暮らせる生活環境づくりが課題となっています。

○香川駅周辺は、駅施設等の近代化や市街地整備の遅れ等から、小規模な開発による市街地が形成され、自然発生的に集積された住宅や商店が混在している。こうした状況を背景に本地区では都市基盤施設の整備等により、すべての人に魅力のある北の拠点としての街整備が急がれる。

将来ビジョン(中長期)

本地域については、「ちがさき都市マスタープラン」において、茅ヶ崎市の北の拠点として位置づけられており、平成17年には「香川まちづくり基本計画」、平成19年には「香川駅周辺地区まちづくり整備計画」を策定し、今後は交通結節点の整備を行うことにより、安全・快適で魅力あふれる市街地とすることとする。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
香川のまちの満足度	%	アンケートによる、香川のまちの歩行者空間の満足度	地区内道路の整備による安全性の向上により、満足度を上げる。	40%	平成20年度	50%	平成25年度
自転車駐車場の混雑度の緩和	%	自転車駐車場の混雑度	自転車駐車場整備による交通結節点の強化により、違法駐輪を減らし、利用者の利便性の向上を図る。	110%	平成20年度	90%	平成25年度
地区内の移動時間	%	地区内での車輛移動時間に要する時間	骨格となる幹線道路の未整備による交通環境の悪化が問題であるため地区内の平均車輛移動時間の10%短縮を目指す。	100%	平成20年度	90%	平成25年度
香川駅の乗車人員の増加	人	香川駅の1日の平均乗車人員	地区内道路の整備による安全性の向上により、香川駅の利用者の向上を図る。	4586人	平成19年度	4600人	平成25年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
▪満足度の向上 地区内の道路の拡幅・整備をすることにより、安全な歩行区間を確保します。 また、文化資料館の建設に伴い、地域の生涯学習の場を設けます。		【基幹事業】 ▪道路(市道0111号線道路整備事業) ▪道路(市道0205号線道路改良事業) 【関連事業】 ▪文化資料館移転事業
▪自転車駐車場の混雑度の緩和 ▪自転車駐車場・駅前広場を整備し、自転車駐車場から駅へのアクセスを向上させ、自転車利用者の駅への利便性をはかるとともに、自転車駐車場の混雑の緩和をはかります。		【基幹事業】 ▪香川駅西口駅前広場整備 ▪(仮)香川自転車駐車場整備
▪地区内の交通移動性の向上 ▪交通環境改善として、骨格的となる道路網の整備を進めます。あわせて快適な歩行空間を確保します。		【基幹事業】 ▪道路(市道0111号線道路整備事業) ▪道路(市道0205号道路改良事業) ▪香川駅西口駅前広場整備 ▪寺尾橋架替事業
その他 ○交付期間中の計画の管理について ▪本都市再生整備計画の管理は、庁内横断組織としての「香川駅周辺地区まちづくり整備計画連絡調整会議」にて、事業間の問題処理や時間経過とともに生じる社会情勢の変化に対応し本計画の見直しなどの管理を行っていきます。 ○事業終了後の継続的なまちづくり活動に関する事項 ▪香川駅周辺地区は、茅ヶ崎市で初めての地域住民主体による「香川駅周辺地区まちづくり検討会」から提案された事業であり、今後とも市民・行政協働による地域の活性化を継続した体制作りを進めていきます。 ○事後評価について ▪数値として評価するためアンケート調査を実施し、事業効果に対する評価を事前アンケートと比較します。		

交付対象事業費	1,447	交付限度額	578.8	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

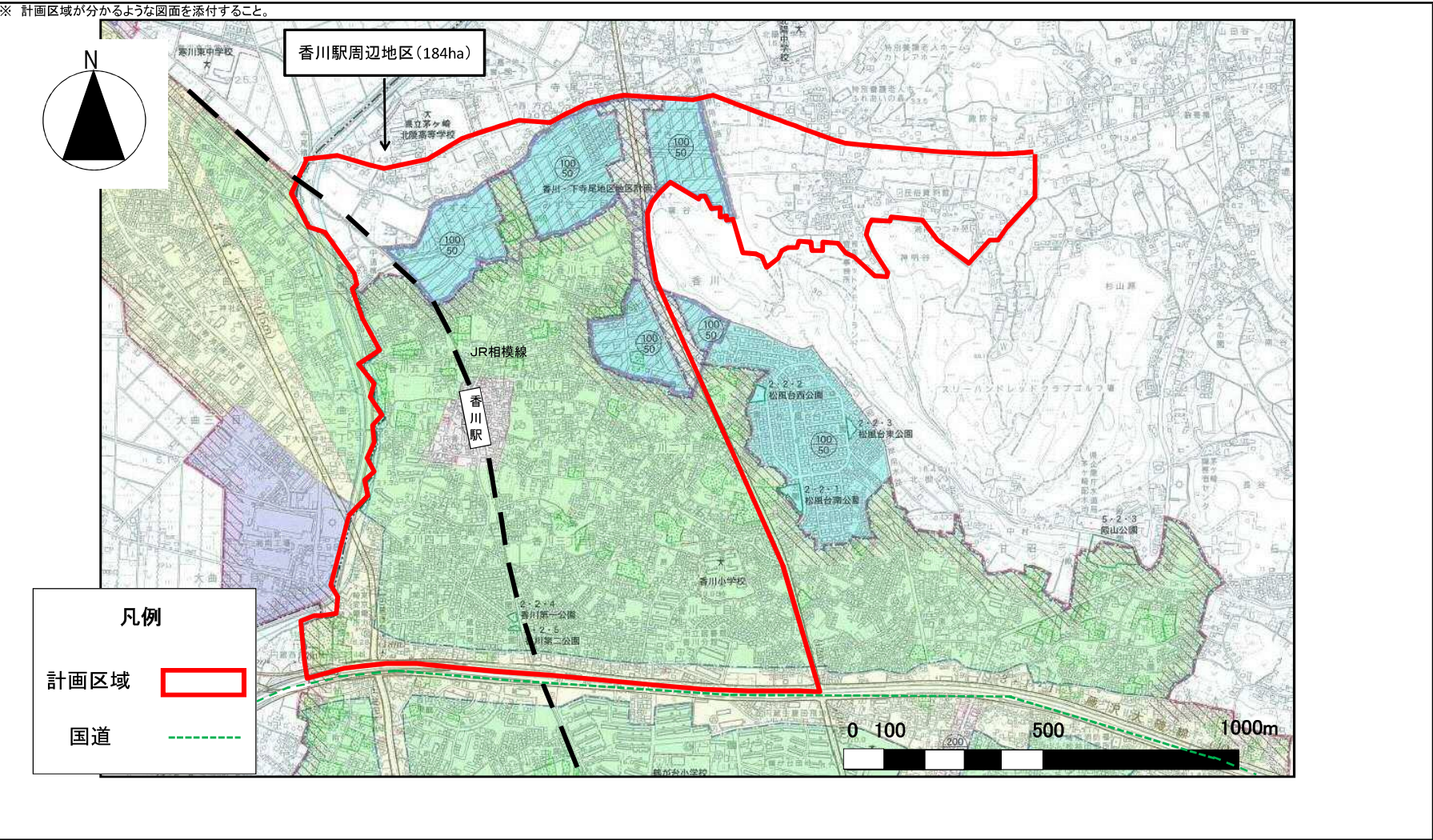
基幹事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内事業費		交付対象 事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路		香川駅西口駅前広場整備事業	茅ヶ崎市	直	約1,200㎡	H21	H25	H21	H25	418	418	418		418
道路		市道0111号線道路整備事業	茅ヶ崎市	直	L=300m、W=6.5m	H20	H24	H22	H22	23	23	23		23
道路		市道0205号線道路改良事業	茅ヶ崎市	直	L=180m、W=12m	H21	H25	H21	H25	592	592	592		592
道路		寺尾橋架替事業	茅ヶ崎市	直	L=84m、W=13.5m～17.2m	H23	H25	H23	H25	118	118	118		118
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		(仮)香川自転車駐車場整備事業	茅ヶ崎市	直	S道2階建・1100台	H21	H22	H21	H22	291	291	291		291
高質空間形成施設		—			—									
高次都市施設		—			—									
既存建造物活用事業		—			—									
公園														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,442	1,442	1,442	0	1,442

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業														0
事業活用調査	計画進行管理	指標計測・効果分析調査	茅ヶ崎市	直	－	H25	H25	H25	H25	5	5	5		5
まちづくり活動推進事業		－			－									0
		－			－									0
		－			－									0
合計										5	5	5	0	5
												合計(A+B)	1,447	

[illegible]

都市再生整備計画の区域

かがわえきしゅうへんちく　かながわけんちがさきし 香川駅周辺地区（神奈川県茅ヶ崎市）	面積	184 ha	区域	香川一丁目、香川三丁目、香川四丁目、香川五丁目、香川六丁目、香川七丁目、みずき一丁目、みずき二丁目、みずき三丁目、の全部と香川二丁目、みずき四丁目、松風台、堤、下寺尾の一部
---	----	--------	----	--



かがわえきしゅうへんちく かながわけんちがさきし
香川駅周辺地区(神奈川県茅ヶ崎市) 整備方針概要図

目標	安全・快適で魅力あふれる市街地の再生	代表的な指標	香川のまちの満足度の向上 (%)	40	(20年度)	→	50	(25年度)
			自転車駐車場の混雑緩和 (%)	110	(20年度)	→	90	(25年度)
			区内の交通移動性の向上 (%)	100	(20年度)	→	90	(25年度)

